



青山眼鏡株式会社
bui 事業課
〒103-0023
東京都中央区日本橋本町1-9-4
Daiwa 日本橋本町ビル 3F
TEL 03-3231-8131
FAX 03-3231-8132

2016 No.8

福井 編集

めがねミュージアムにて bui 体験会開催!!

三月十九日から二二日にかけて、福井県鯖江市にありますめがねミュージアム様にて、六周年祭が催され、弊社buiレンズの体験会を、イベントの一環として開催させて頂きました。

お選びいただいたのか、一部ご紹介させて頂きたいと思えます。



メガネミュージアム様には、産地鯖江のショールームとして県内のメーカー約四〇社が製造する三〇〇本以上の最新・人気フレームが展示されております。事前にホームページやフェイスブック等で告知をし、三日間で延べ八組のお客様にbuiレンズをご購入いただきました。

●30代男性
お隣の石川県から観光目的でお越しいただいたお客様です。当初は、鯖江のフレームが欲しいという事で、レンズは、普通の度なしを入れる予定だったのですが、接客の合間に、buiの体感レンズを使ってPOPを見ていただくと、「すごいー見やすくなっ

た！こんなレンズがあるんだ！」と違いを実感していただき、そこからはとんとんびようして、buiレンズの度無しをご購入という運びになりました。また、よくよくお話を伺ってみると、お仕事柄、パソコンを使う事も多いという事で、ブルーライトカットのLCカラーを御提案させて頂いたいただき、8%の薄い色目のカラーを入れていただくことになりました。お帰りの際、「いい買い物が出来たよ、ありがと。」と仰っていただいたのが、なよりの励みとなりました。

●30代女性
こちらと同じ北陸の富山県からお越しいただいたお客様です。しかし、このお客様はなんとメガネミュージアム様のフェイスブックをご覧になり、buiレン

ズを目的に、わざわざ車でお越しいただいたとのこと。
普段、パソコン作業が辛く、ご自身で色々調べに行くうちにbuiレンズにたどり着いたそうです。非常にありがたいと同時に、目が疲れて困っている方は、もつと沢山の度ではないかと再確認しました。

●30代男性
こちらは、京都府からご夫婦で北陸観光も兼ねてお越しいただいたお客様です。
最初は奥さまの付き添いという感じで、あまりご自身のメガネは購入する気はなかったようですが、奥さまとの接客の際に、buiの体感レンズをお二人にお試しいただくと、奥さまよりも旦那さまの方が興味を示されて「ええーこのレンズすごいー俺も買おうかな。」と、なんと奥さまと同じ

ブラックアイスの色違いでbuiを入れてご購入いただくことになりました。
こちらのお客様も、よくお話しをお伺いしてみると、お仕事柄、中・長距離の運転をよくされるそう、夜間運転の際のライトの眩しさ軽減というのが一番の決め手になりました。

その他にも、たくさんのお客様にbuiレンズをご体感いただきました。その中でも、多くの方の購入のきっかけとなったのは、「パソコン作業が楽になる。」「夜間運転のライトの眩しさ軽減。」この二つだったように思っています。

「目が疲れるけど我慢する」という方はまだまだたくさんいらっしゃると思います。だからこそ、そんな時にはbuiだよ、と目が疲れる人の駆け込み寺的な存在になれるよう、精進していかねばならないな、と勉強させて頂いていただいた三日間となりました。



お店紹介

今回、紹介させて頂いた皆さまのは石川県小松市にあります「オプトパルス小松」様です。
昨年、移転オープンしたばかりの店舗には、レイバンをはじめ店長が厳選したフレームが揃っており、また、子ども枠にも力を入れておりまして、弊社の「めがね委員長」の他、バリエーション豊富にございます。
そして、なんといつでも、店舗内にレンズコーナーがございまして、その一角に、buiも展開していただいております。その他、様々な機能性レンズを取扱っておりますが、その中でも、buiは老若男女問わず自信を持ってお勧めできるレンズだとおっしゃっていただいております。

文・夏目翔平